

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム「あじさい」

目標達成計画

作成日: 平成 29年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	運営法人全体で利用者の看取りを見据えた支援に取り組んでおり、職員研修等の取り組みも行われている。協力医の協力も得ながら取り組みにつながる事。	日々の細かい体調の変化を協力医に報告する事で指示を仰ぎ、職員研修などで看取りを見据えて取り組みの継続をする。	ホームに内科往診に来られた時やお電話などで協力医に上申する。定期的な研修も社会に行って頂く。	12ヶ月
2	35	災害時のホームでの避難誘導には地域の方の協力も必要になると思われる為、継続した地域の方との協力関係の構築に力をそそぐ。	運営推進会議や地域の催し物に参加ばかりではなく、田楽大会や秋の味覚祭など、ホームの行事に地域の方を招待する。	年末の消防団のパトロール時には、詰め所に挨拶に行くなど、地域の方にしてもらうばかりではなく、地域の掃除などにも参加してみる等。	12ヶ月
3	4	運営推進会議に地域包括支援センター職員の方の出席が得られていない事も多い。	ホームからの継続した案内をしたり、1年間のスケジュールなどを先行して作れたり、出席しやすい取り組みをする。	地域の方や会社内での話し合いのもと、早めに日程を決めていけるように努力をする。スケジュールを作り配布できるように取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。